

## 私の履歴



ネクスト・デンタル主任衛生士  
林 智恵子

私は衛生士学校を卒業した後 5 年働いて結婚し、出産の為退職、その後普通の主婦を 20 年近くしておりました。子供が大きくなり、手が離れたのをきっかけに現場に復帰しました。

復帰当時は（裸眼で）見えているつもりで歯石除去をしていました。ところが 2 倍のルーペを使い始めたら歯石の取り残しを発見！これでは治るはずがありませんよね。私の拡大治療は 2 倍のルーペから始まり、現在は 4 倍のルーペとマイクロを使い分けています。倍率が上がるとともに私自身のスキルが上がり、治療の成果も患者さんが感じてくれるようになりました。

やはり人間の目には限界があるのだ！と言う事を知った今、拡大する事は自分の為でもあり、患者さんの為でもある。マイクロスコープを見ている私は患者さんの目の代わりでもあると思っています。

私は「マイクロスコープはコミュニケーションツール」だと考えていますので、メンテナンスを始める時、必ず最初にマイクロスコープで口腔内チェックをします。その時、患者さんにすぐに見てもらいたい時はグラストロンをかけてもらい、その場で見てもらいます。また、じっくり状態を把握してもらいたい時には録画した動画を再生して説明をします。

私は復帰して 13 年、拡大の世界に入って 9 年目です。歯科衛生士としてトータルメンテナンスを行なう事は専門的な技術や知識が必要である事はもちろんですが、しかしもっと重要な事は患者さんと良好なコミュニケーションをとる事だと思います。いかに患者さんの心を開きモチベーションをあげていくか？そのためには「拡大して」「見せて」「結果を出す」事が大切なのではないかと考えます。

今私は仕事が楽しいです、患者さんとの深い関わりが持てて、確かな情報が得られる環境でメンテナンスが出来ることは復帰当時には考えられなかったことです。

私達は女性の人生の中で一度は現場から離れなければならない事があるかも知れませんが、しかしマイクロがあれば復帰なんか怖くない！第二の人生を輝かせてくれると信じています。